

会 議 概 要

第3回 【山直北・城東校区】学校適正化に向けた校区懇談会

《開催日》令和4年11月8日（火曜日）

《時 間》19：30～21：00

《場 所》山直地区公民館 講座室1

《参加者》地域参加者：7名 教育委員会事務局：5名

<議題等>

1 開会

2 事務局挨拶

3 議題

(1) 事務局からの説明事項について

(2) 意見交換

| | |
|-----|---|
| 事務局 | (別添資料に沿って内容を説明) |
| 参加者 | 資料7ページと9ページの児童数推計について、磯之上山直線より城東小学校側から山直北小学校へ通う地域の児童も含まれているのか。 |
| 事務局 | 7ページ「調整区域をすべて城東校区に編入」の推計については、現在の調整区域内に住む児童を含んでおり、9ページ「磯之上山直線を境目に通学区域を設定」の推計については、磯之上山直線より城東小学校側から山直北小学校へ通う地域の児童を含んでいる。 |
| 参加者 | 資料8ページについて、令和4年度では41名の児童が磯之上山直線を渡って城東小学校側から山直北小学校へ通学しているということか。 |
| 事務局 | そのとおりである。なお、令和4年度で41名という児童数は、城東小学校を選択できる調整区域に住む児童も、そうでない地域に住む児童も合わせたもの。 |
| 参加者 | 資料6ページによれば、令和4年度で城東小学校を選択した児童は4名とある。41名からその4名を差し引いた37名が山直北小学校へ通っているということか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | そうではなく、資料6ページで示す「令和4年度に城東小学校を選択した児童は4名」という数値は、今年度に城東小学校を選択し、入学した実績値である。資料8ページの41名という数値は、城東小学校側から山直北小学校へ通う1年生から6年生までを含んだ人数となっている。 |
| 参加者 | 資料2ページにこれまでの取組経過を掲載しているが、山直南校区で取組が中断したタイミングはどこにあたるのか。 |
| 事務局 | 資料左側の時系列欄で言えば、令和3年11～12月の後になる。地域説明会の開催後、令和4年度から各校区で校区懇談会を設置しているが、その事前調整として、主に山直南校区の町会長の方々と複数回話し合いの機会を持った中で、懇談会設置の合意を得られていない状況であり、教育委員会が取組を中断したということではない。 |
| 参加者 | 山直南校区で話し合いが頓挫したことを受け、令和元年10月の審議会答申や、令和2年3月策定の基本方針はすべてなくなったという理解でよいか。 |
| 事務局 | 審議会答申や、教育委員会の基本的な考え方をまとめた基本方針、また具体的な適正化の方策を示す実施計画（案）について、撤回及び修正は行っていない。 山直南校区からは懇談会設置の合意を得られていないため、結果的に話し合いが一時保留状態になっている状況であり、教育委員会としては、懇談会設置に向けた話し合いをいつでも行いたいという考えである。 |
| 参加者 | 資料9ページの推計値について、城東校区内における、今後の住宅開発動向は考慮されているか。 |
| 事務局 | 近年の住宅開発による人口動態は加味された推計値となっているが、今後の開発動向・見込みについては考慮していない。 |
| 参加者 | 城東校区内では近年新たな住宅が建ちつつあり、現在も建設中のものがある。そうした住宅に住む方は、おそらく若い世代。本日示された推計値が実情と異なってくる可能性も高い。 |
| 事務局 | 城東校区内でのこれまでの住宅開発については、前回懇談会でもお示し |

| | |
|-----|--|
| | したところだが、今後の開発見込みや展望を含んで推計値を算出することは困難。 |
| 参加者 | 現在2学級となっている城東小学校の1年生くらいの人数で児童数が増加していくものと考えている。 |
| 事務局 | 今後の校区内人口動態や、児童数推計をしっかりと見極め、分析しながら取組を進めていく必要があるものと認識している。 |
| 参加者 | 城東校区内では交通事故の発生が少ない一方、山直北校区では危険な道路も多く、実際に上半期だけで6件の交通事故が発生している。校区統合により放課後の行動範囲が拡大すると、事故のリスクも高まることが想定されるが、以前の教育委員会の説明では「安全確保のため努力します」という曖昧なものであった。実際はどのような対策を考えているのか。 |
| 事務局 | 通学路の安全対策については、現在も教育委員会内の学校管理課が所管し、取り組んでいるところだが、仮に学校の再編がなされた場合の通学については・・・ |
| 参加者 | 通学だけではなく、放課後のことを含めて意見している。 |
| 事務局 | 児童が放課後に、どこでどのように過ごすのかは様々だと思うが、通学路に関して言えば、学校の再編によって児童の安全が脅かされることがあってはならないため、ハード面・ソフト面の両面から対策することが必要なものと考えている。その際は、当然ながら地域や保護者の皆様のご意見を伺いながら検討していく。 |
| 参加者 | 見守り活動等を通じて放課後の子どもたちの様子を見てみると、現状でもかなりの人数が自転車で走っている。牛滝街道のように、交通量が多く狭隘な道路のある山直北校区まで出かけていくことを考えると、城東校区内で遊んでいる現状と比べて危険性が高まる。山直北校区に住む友達がいれば、当然子どもは遊びに行く。この対策はできないと思う。 |
| 事務局 | 通学区域の拡大によって、児童の行動範囲も合わせて拡大することは想定されるが、それは城東小学校の児童だけでなく、山直北小学校の児童にも当てはまる。そのような中、現状でも交通事故を防ぐための施策を実施 |

| | |
|-----|---|
| | <p>しているが、更なる対策が必要であれば、そこはしっかりと取り組んでいく。</p> |
| 参加者 | <p>また改めて、直近5年間の、山直北・城東両校区内での交通事故件数と、どのような対策を行ってきたのかを示してほしい。</p> <p>資料11ページ掲載のデメリットとして、「三田町及び田治米町のコミュニティへの影響が懸念される」とあるが、現在も両町には調整区域が設けられているため、さほどデメリットにはならないのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>この案で通学区域を見直した場合、三田町及び田治米町に住む、より多くの児童が城東小学校へ通うことになり、このことが地域コミュニティに与える影響が懸念されるものと考え、デメリットの欄に掲載している。</p> |
| 参加者 | <p>影響が大きいと考えているようだが、資料6ページや8ページで示すように、対象の割合が小さいことと矛盾しないか。</p> |
| 事務局 | <p>現在のように一部地域にのみ調整区域を町内に設けていることと、通学区域を完全に城東小学校に見直すということでは、地域や保護者へ与える影響の大きさや、協議や調整の内容・深さも異なるものと考えている。</p> |
| 参加者 | <p>デメリットとして強調すべきものではないと感じた。懇談会の中でこのようにデメリットを強調することは、城東小学校を閉校する方向に議論を持っていくことにつながるため、いかがなものかと思う。</p> |
| 事務局 | <p>教育委員会としては、子どもたちの教育環境を中心に考え、小規模化の課題を解消するために実施計画（案）をお示ししているところだが、地域コミュニティへの影響も勘案すべき事象の一つだと捉えている。</p> |
| 参加者 | <p>地域コミュニティへの影響と言うが、進学する中学校は同じ山直中学校なのだから、結局は一緒なのではないか。デメリットを強調する一方で、対象となる児童の割合は少ないとも示している。</p> <p>前回懇談会資料でも、城東校区内での人口動態を示しながら、一方で市全体の人口は減っているから再編、という説明があった。城東校区内の人口動態について議論するならば、各校区での人口動態と同じ尺度で比較すべきであって、尺度の異なる市全体の人口動態と比較して論じることは適切ではない。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>結局、教育委員会は城東小学校を閉校する方向で議論を進めたいのか。</p> <p>城東小学校は、基本方針で示す、学校規模の適正化を検討する範囲に合致する小規模校であるため、実施計画（案）では閉校する案をお示ししている。一方で、昨今の校区内住宅開発動向や人口動態について、それを無視して取組を進める意向ではない。地域や保護者の皆様のご意見をお伺いしながら、校区内の状況を分析し、判断していく必要があるものと考えている。</p> |
| 参加者 | <p>第1回懇談会で全体の流れを把握し、第2回懇談会で城東小学校を残すための方策について意見したが、城東小学校を閉校する方向で進むとするならば、町会長として懇談会に参加している立場からは、町民の意見を聞かなければならない。町会として方向性を出した上で、意見を述べていく必要がある。</p> |
| 事務局 | <p>町会として方向性を出すということについては、各町会での判断になるため、教育委員会としてそれを妨げるつもりはない。</p> |
| 参加者 | <p>今年の4月時点で、この取組がどのように進んでいるのか把握している人は町内にほとんどいなかった。その中で、町会に説明に来てもらったこともあったが、周知のための説明会を、最初の段階でもっと広く実施すべきであったと思う。町会長という立場で懇談会に出席することで、町会長が町民に状況を説明しなければならなくなっており、負担でしかない。</p> <p>また、市のホームページによる周知のための動画配信について、再生数が全校区で約1700回と伺ったが、岸和田市の人口から見れば少なすぎる。何を周知してきたのかがよくわからない。そのような中、校区から代表者を集めて懇談会を行う段階に移行したことも疑問。</p> |
| 事務局 | <p>資料2ページでお示ししているように、この取組に着手するにあたっては保護者・児童生徒・教職員を対象としたアンケート調査を実施している。またその調査結果としては、大多数が「12～18学級の学校規模が望ましい」としているものであった。</p> |
| 参加者 | <p>アンケート調査結果については、どの程度の学校規模が望ましいのか、という一般論における結果であるため、それは別によい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>周知としては、基本方針策定後及び、実施計画（案）策定後に説明会を実施している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、説明会が開催できない時期があったことから、動画配信という手法もとった。</p> <p>実施計画（案）についての説明会は、関係校区で平日と土日の2回ずつ実施しており、開催にあたっては各小中学校の保護者に周知用のチラシを配布した。その他、就学前施設や町会連合会の会合に出向くなどして、可能な限り広く周知に努めてきたところ。</p> |
| 参加者 | <p>城東校区での説明会にはどれくらいの人数が参加したのか。</p> |
| 事務局 | <p>令和3年11月28日（日曜日）の14：30から山直市民センターで開催した回には11名、12月9日（木曜日）の18：30から城東小学校体育館で開催した回には13名の参加があった。</p> |
| 参加者 | <p>それは少なすぎる。以前町会に説明に来ていただいたときでさえ、町民約35人の参加があった。どのような案内をしたのか。</p> |
| 事務局 | <p>先ほど説明したように、ホームページや・・・</p> |
| 参加者 | <p>ふざけている。11名と13名という参加人数で説明したつもりになっているだけではないか。説明会を20回実施したという実績づくりをしただけにしか聞こえない。</p> |
| 事務局 | <p>2回の説明会で、約120名の参加があった校区もある一方で、城東校区では参加者が少なかったことはお示ししたとおりだが・・・</p> |
| 参加者 | <p>他の校区の話は別によい。</p> |
| 事務局 | <p>教育委員会としては、広報きしわだや市ホームページ、スマホアプリ「きしまる」への情報掲載のほか、児童生徒の保護者一人ひとりに開催を周知するために、学校を通じて児童生徒一人ひとりにチラシを配布した。これは城東校区だけではなく、それ以外の校区も同様である。</p> <p>また、未就学児の保護者にも同様に、地域の就学前施設を通じて一人ひとりにチラシを配布した。これは公立施設だけではなく、民間園のご協力もいただいた上で実施した。その他の周知手法については先ほどの説明のとおりだが、教育委員会としては可能な限り多くの人に取り組を知っていた</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>参加者</p> | <p>だけのように努めてきたところ。</p> <p>ただその結果として、城東校区における説明会の参加人数が少なかったことや、取組の認知度が低いというご指摘については、真摯に受け止めなければならない。</p> <p>周知の努力については一定理解するが、その努力が地域の再編に対する理解を深めることにつながっておらず、地域として「再編は仕方ない」という機運にもなっていない。実際に周りで聞く意見も反対意見ばかりなのだが、教育委員会としては、どういう状態になれば計画を進めるつもりなのか。</p> <p>保護者の方は再編による学習面への影響だけではなく、生活面への影響も含めて非常に心配されている。現状を見る限り、そうした方々を説得していくことは不可能ではないかと思う。</p> |
| <p>参加者</p> | <p>周知にあたっては、各町単位で説明会を開催することが最も効率的ではないか。現状は地域で反対多数だと感じているが、どう説得するつもりなのか。町会としての方向性を定める上では、そうした方々からも多く意見が出ると思うし、町会もそれを踏まえた方向性で動くことになる。</p> <p>地域に住む多くの方々は、山直南校区で反対を受けて取組が中断していることを知っている。同じような状況になった際にどうするのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>地域として様々なご意見を持っていることは理解する。教育委員会としても、地域の皆様との協議なしに取組を進めていくことはできないと考えている。</p> |
| <p>参加者</p> | <p>町民の方々から意見を預かってきたので、読み上げさせていただく。</p> <p>「城東小学校の廃校、山直北小学校へ統合するということに、不安を強く感じる。通学路の安全はどう保障されるのか、納得できる具体策が必要だと思う。またこの度の感染症の流行などで、大規模校の運営はより難しいことが想像できた。新たにデメリットが拡大すると思う。また小学校は地域コミュニティの拠点でもある。地域の市民の活動を支える役割を持って果たしてきた側面などを軽視すべきではないと思う。城東小学校の存続を望みます」</p> <p>「東ヶ丘町より山直北ルートへは、大きい道を渡る必要があるため、統合は反対いたします」</p> <p>「存続してほしい。これからの新入生に近くから慣れていくのが、親の</p> |

| | |
|--|---|
| 参加者 | <p>負担も今のままの方が良い」</p> |
| | <p>「山直北小学校の現状は、支援学級の教室が不足、1教室を分割して2クラスが学習していると聞きます。また城東小学校は児童数の割に支援級在籍児童も多く、手厚い支援教育を受けることができていると思います。それらが合わさったときに、今ある手厚い支援が確保できるとは到底思えません。大集団で様々な人間関係を築き、揉まれて育つことが大事という考えもわかりますが、支援を必要とする児童が増えている今、手厚い丁寧な教育の確保も大事なところですよ」</p> |
| | <p>「山直中学校が荒れる学年がありながらも無事卒業を迎えているのは、城東・山直北それぞれの小学校での教育が実を結び6年間で学んだことの基盤があるからこそだと思います。城東小学校の閉校を考える前に、まず残す方向で校区の見直しをしてほしいです。危険な大通りの磯之上線より和泉市側をすべて城東校区にすれば、各学年2クラス運営になる可能性が広がると思います」</p> |
| | <p>「市側の説明を聞いた上でも、学校適正化と表現されていますが、納得できません。どうか方向性を見直してほしいと思います」</p> |
| | <p>「保護者の車の駐車スペースについて、個人的にホームページ経由で質問しましたが、ありきたりな建前だけの返答でがっかりした。8月24日の懇談会でも、同様の質問が出たようだが、病気等、児童を親が送り迎えすることも当然起こり得るわけで、駐車場の件は本気で考えて欲しい。自動車での来校はご遠慮くださいだけの返答は無責任だと思います」</p> |
| | <p>「城東小・山直北小の通学区域を見直して、城東小学校をぜひ残してほしいと思います」</p> |
| <p>「説明会開催していただきありがとうございました。参加させていただきましたが、城東小学校閉校ありきの態度に憤りを感じています。学校適正規模及び適正配置の基準が定まっていない中、あまりにも雑な計画だと思います」</p> | |
| <p>「説明会でも反対意見が多く述べられたと聞いています。もっと詳しい話し合いをしたいと思います」</p> | |
| <p>今も様々なご意見があったが、学校を残してほしいという内容が多いと思う。閉校ではない何らかの方策を考えてほしいということだと思うが、例えば城東小学校を分校という形で残して、山直北小学校と合わせて校長は1名、教頭を2名置いて運営していくような、視点を変えた様々な案が必要ではないか。</p> | |
| <p>他市においても、生徒数が減ったために閉校予定であった学校を分校と</p> | |

| | |
|-----|---|
| | <p>いう形で残して運営している事例もある。城東小学校の閉校ありきで進めようとしていることを地域住民が感じている現状では、どの地域に行っても説明しても反対意見ばかりが出ると思う。</p> |
| 事務局 | <p>現在お子様を城東小学校へ通わせている保護者のお立場からのご意見はいかがか。</p> |
| 参加者 | <p>統合によって児童数が増えることについて、個人的には賛成できない。アンケート調査結果では12～18学級が望ましいという回答が多かったということだが、保護者らも学校を統合することを前提に回答したのではないと思う。城東小学校を残すか、閉校するかというわかりやすい内容のアンケートを取ればよいのではないか。</p> <p>城東小学校の児童数が少ないからこそ、一人ひとりの児童に丁寧に接してくれているということは保護者の立場としても感じている。統合後も現在と同様に細かく見てもらえるとは考えにくい。また、冒頭のご意見にもあった、校区が広がることによる影響や、交通上の危険についても懸念がある。加えて現在は共働きの保護者が多い中で、学童（ちびっこホーム）に預けることもできなくなるのではないかと心配している。この計画に賛成する保護者はいるのだろうかとすら思う。</p> |
| 事務局 | <p>山直北小学校の保護者としてのご意見はいかがか。</p> |
| 参加者 | <p>城東小学校の保護者の方のご意見はそのとおりだと思う。なかなか賛成意見は出にくいだろう。放課後の行動範囲が広がるという話があったが、山直北校区側からも遊びに行くことを考えると、不安は不安。</p> |
| 事務局 | <p>城東小学校に携わってこられたお立場からのご意見はいかがか。</p> |
| 参加者 | <p>今保護者の方がおっしゃったご意見と同様の心配を、多くの方が持っているのではないかと感じた。</p> <p>身近な幼稚園の保護者に尋ねてみても、まだ漠然としている感じがあるので、やはり未就学児の保護者に対してもっと説明するということからスタートしなければいけないように思う。昨年の説明会に参加した人数の少なさには驚いたが、町会を通して呼びかけを行うことで、もっと参加者が集まる説明会になるのではないか。本当は校区懇談会にも、より多くの保護者の方に参加してほしい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>本日は多くのご意見をいただき感謝する。いただいたご意見を受け、教育委員会内でも議論させていただく。</p> |
| 参加者 | <p>今は懇談会の開催を繰り返しているが、同じような状況が続くのであれば再編を止めるのか、もしくは、どのような状況になれば再編にGOサインが出るのかという点がわからない。</p> |
| 事務局 | <p>いつまでに懇談を終えるという具体的な期限を設けているわけではないが、仮にこれ以上話し合うことがないといった状況になった場合には、皆様のご意見も踏まえながら、今後の懇談会のあり方についても判断していきたい。</p> |
| 参加者 | <p>第1回懇談会の場だったと思うが、令和10年度を目処に開校をめざすといった発言があった。また、校舎の建替えも予定しているとのことだが、校舎の建替えには設計や建築期間が必要であり、また事前に予算関係の手続きが必要なことを踏まえると、4年程度の期間が必要なのではないか。令和10年4月の開校であれば、令和5年度中には方向性を決めなければならない。</p> |
| 事務局 | <p>実施計画（案）には、開校までのスケジュールとして（仮称）学校開校準備委員会の設置から5年程度の期間を目安としており、仮に現時点で地域や保護者の皆様と一定の合意に至った場合、最短で令和10年4月の開校が見込まれるという意味合いで発言したものである。実施計画（案）はまだ確定したものではないため、令和10年4月の開校が決まっているということではない。</p> |
| 参加者 | <p>合意に至らない場合はまだまだ懇談が続いていくということか。</p> |
| 事務局 | <p>懇談会で何かを決定するということではなく、あくまでも意見交換の場である。賛否問わず、議論をし尽くした上で懇談会を終えることが望ましい形だと思う。</p> |
| 参加者 | <p>懇談会で議論をし尽くした上でも反対意見がほとんどであれば、「議論をし尽くしたので再編を実行する」ということにはならないという理解でよいか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 仮に懇談会が一定の終着点に至ったとして、それを踏まえて判断を行う際には、教育委員会や市の判断と、議決権を持つ議会の判断が生じる。議会に対しては、市・教育委員会の考え方だけではなく、懇談会でいただいたご意見等について、賛否を問わず詳細に報告する姿勢である。 |
| 参加者 | 「話は聞いたから、もう進めてしまおう」ということではないと信じてよいか。 |
| 事務局 | 話し合いを十分に行わない中、進めていくという考えではない。 |
| 参加者 | 町総会で意見が決まれば、町会としてもその方向性で進まざるを得ない。例えば町会として反対の方向性でまとめれば、以降の懇談会には町会長として出席はしないということも考えられる。現状では反対多数が想定される中、懇談会を繰り返すより先に、町会単位での説明会を開催する必要があるのではないか。 |
| 事務局 | 以前関係町会に説明に行った際は、教育委員会が説明会を開催したわけではなく、町会から依頼を受ける中で説明に伺ったという事情である。 教育委員会としては、取組を広く周知するための説明会を昨年度に開催した中で、今後も町会に対して繰り返し説明に伺うというスタンスではなく、校区懇談会での議論を深めていきたいと考えている。 |
| 参加者 | 本日で懇談会には三度目の参加だが、城東小学校の閉校に持っていきたいという教育委員会の意向が見え見えである。議論の回数稼ぎのために開催しているのであれば、もうこれ以上出席しても仕方がないのではないかとと思う。今後は町民の総意を聞いた上で判断したいと考えている。 |
| 事務局 | そうした町会としてのご判断について、教育委員会から何か妨げるというつもりはない。 |
| 参加者 | 本日は三田町と田治米町に関わる通学区域見直し案について議題に挙がったが、この懇談会には三田町からの参加はないように思う。そのあたりはいかがか。 |
| 事務局 | 懇談会のメンバーについては、あらかじめ教育委員会から校区に相談の上、最終的には校区として主体的に選定していただいた経緯がある。 |

| | |
|--|---|
| | <p>本日の懇談会は閉会とさせていただきます。本日もお忙しい中ご参加いただき感謝する。</p> |
|--|---|

以上